

産業建設民生常任委員会視察研修

産業建設民生常任委員会は以下の内容について調査するために11月26日に岩手県岩泉町と洋野町を、27日に青森県八戸市を視察しました。

シンバルス（岩手県岩泉町）～グランピング施設及びキャンプ場に関する視察～

岩泉町では平成28年台風10号豪雨災害で被災した交流施設「ふれあいランド岩泉」を再整備し、令和7年4月24日に新たな観光施設として「シンバルス」がグランドオープンしました。再整備にあたっては、グランピング施設やコテージの建築、サニタリーハウスのリフォーム、オートキャンプ場の区画拡大、東屋設置などを実施しました。特徴として、持続的な管理運営を図ることを目的に民間の活力を導入しており、町が決定した事業者が施設設計や施工などを行い、完成後は指定管理者となって管理運営を行っています。



グランピング施設
外観
←

グランピング施設
内部
→



株式会社北三陸ファクトリー（岩手県洋野町）～つくり育てる漁業に関する視察（ウニの畜養及び陸上養殖）～

洋野町では、昆布やワカメなどの海藻資源を守りながら、高品質なウニを持続的に生産する独自の仕組みがあります。約50年前に漁師が考案した「うに牧場®（増殖溝）」により、資源の枯渇を防ぎつつ安定した漁獲を実現しています。

北三陸ファクトリーでは、磯焼けによる餌不足で痩せたウニを畜養し、美味しいウニとして商品に変える取組を行っています。また、令和7年4月よりウニ陸上養殖システムの構築に向けて、国の事業を活用して実証事業の本格化に取り組んでいて、現在洋野町内に大規模陸上養殖施設を建設中です。



社内での
視察研修
←

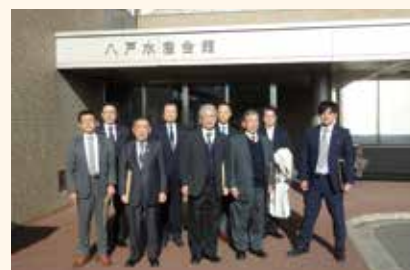
建設中の
陸上養殖施設外観
→



八戸市水産会館及び嶋脇漁業株式会社（青森県八戸市）～つくり育てる漁業に関する視察（カレイ・ヒラメの陸上養殖）～

八戸市ではイカやサバが主要魚種でしたが、不漁により漁業者だけでなく飲食業界、観光業界へ大きな影響が出ています。このような状況を打開するため、同市では「八戸水産アカデミー」を設置し、養殖業や消費者ニーズなどをテーマに講演会を開催するなど、関係者の知識向上を図りながら水産業の再興に向けた取組を行っています。

これを受け嶋脇漁業株式会社では、新規事業としてマツカワガレイの閉鎖循環式陸上養殖に取り組んでいます。この事業は産学金官が連携した事業で、養殖は令和7年6月30日から本格的に開始しています。現在養殖しながら成育状況やコストなどデータ収集を行っており、令和8年度以降に出荷する予定です。



八戸市
水産会館
視察研修
←

陸上養殖
施設内部
→

